

LIXIL

D&D

ダウンライト

LEDダウンライト (LDK-3型)

取付説明書

保管用

LH8VLE42VP-T3A

お客様へ

このたびはお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。

この説明書は大切に保管してください。

施工には電気工事士の資格が必要です。必ず、販売店、工事店に依頼してください。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

■ お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。(下記は図記号の一例です。)



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告

- 異常を感じた場合、速やかに電源を切る
異常状態が収まったことを確認し、販売店にご相談ください。



分解禁止

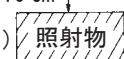
- 器具を改造したり、部品交換をしない
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。



必ず守る

- 照射物近接限度内にドア開閉範囲や家具などの可燃物が近づかないように注意する
守らないと、照射物の変色、火災のおそれがあります。

照射物近接限度 10 cm



(ドア・家具・布などの可燃物)



禁止

- アルカリ系洗剤は使用しない
強度低下により破損し、落下するおそれがあります。



注意

- 照明器具には寿命があります。
設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。
点検・交換してください。



禁止



必ず守る

点検せずに長期間使い続けるとまれに火災、感電、落下などに至る場合があります。

- ◎ 1年に1回は安全チェックシートに基づき自主点検してください。

- お手入れの際は電源を切る
通電状態で行うと、感電の原因となる場合があります。

- 温度の高くなるものを器具の真下に置かない
火災の原因となることがあります。

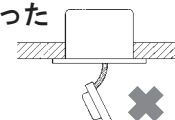
◎ 器具の真下にストーブなどを置かないでください。

- LEDを直視しない
目の痛みの原因となることがあります。

- 器具配線やコネクタを過度な力で引っ張らない
充電部露出による感電の原因となります。

- LEDユニットがぶら下がった状態で使用しない

充電部露出による感電の原因となることがあります。



仕様

品番は器具のラベルをご参照ください

使用電圧	周波数	消費電力	入力電流
AC100V	50/60Hz 共用	7.2W	0.13A

- LED照明器具の光源寿命は、40,000時間です。(照明器具の寿命とは異なります。)

光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。

- LEDユニットは消耗品ではありません。

施工説明

安全上のご注意

必ずお守りください

警告

■天井

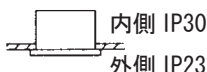
- 次のような場所には取り付けない
落下、器具の故障や絶縁不良による火災、感電のおそれがあります。

- ・ 強度のない薄い天井面
- ・ ロックウールなどのやわらかい天井面
- ・ 傾斜角 55 度を超える天井面
- ・ 器具背面より雨の吹き込みや水滴のかかる場所
- ・ 振動のある場所
- ・ 浴室など湿気が多い場所
- ・ 腐食性ガスの発生する場所
- ・ 天井内の湿度が高く結露のおそれのある場所



禁止

- ◎ この器具は天井面埋め込み専用防雨型です。
(防湿型ではありません。天井外側のみ防水構造となっており、天井内側から湿気や水気が浸入する場所には取り付けしないでください。)



- ◎ 石膏ボード (9mm以上) に取り付けできます。

- 特殊な断熱・遮音・防音施工された天井には取り付けない

過熱して火災のおそれがあります。

日本照明工業会 SB・SGI・SG 形適合品
マット敷工法 ブローイング工法



- 取付面と本体パッキンのスキマにシール剤を塗る

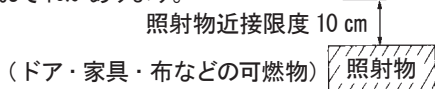
本体パッキンと取付面とのすき間を防水シール剤などで埋めてください。防水が不完全な場合、火災、感電のおそれがあります。



必ず守る

- 照射物近接限度内にドア開閉範囲や家具などの可燃物が近づかないように考慮して取り付ける

守らないと、照射物の変色、火災のおそれがあります。

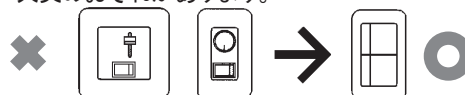


■壁スイッチ

- 調光機能が付いた壁スイッチの場合は、一般の入切用スイッチに交換する
火災のおそれがあります。



必ず守る



- ◎ 販売店、工事店に交換を依頼してください。
(取り外しには資格が必要です。)

■その他

- 器具の取り付けは、説明書に従い確実にを行う

取り付けに不備があると、火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

- 交流 100 ボルトで使用する

過電圧を加えると過熱し、火災、感電のおそれがあります。



必ず守る

- 電源線は端子台の差込穴の奥まで確実に差し込む

差し込みが不完全な場合、火災、感電のおそれがあります。

- メタルラス張り、ワイヤラス張り、金属板張りの木造の造営材に器具を取り付ける場合は、器具の金属部と絶縁をとる

器具の本体などとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないように取り付けてください。守らないと、漏電した場合、火災、感電のおそれがあります。



アース線
接続

- 接地工事は電気設備の技術基準に従って行う

接地工事が不完全な場合、感電のおそれがあります。



禁止

- 屋内配線の電源、ケーブルなどは器具に接触させない

火災のおそれがあります。

注意



禁止

- 温度の高くなるものの上に取り付けない
火災の原因となることがあります。

- ◎ ガス機器やその排気筒の上に取り付けしないでください。

各部のなまえと取り付けかた

安全のため、電源を切ってから行ってください

取り付け前のご注意

- ・ ほたるスイッチと接続する場合は器具 1 台につきスイッチ 3 個まででご利用ください。(4 個以上のほたるスイッチと接続すると、スイッチを切にしても器具が消灯しないことがあります。)
- ・ 表面に 1 mm 以上の凹凸のある天井の場合は、気密性が損なわれるおそれがありますので、平面に仕上げてください。

1 天井に埋込穴をあける

- ・ 天井の厚さにより、下記寸法の埋込穴をあける。

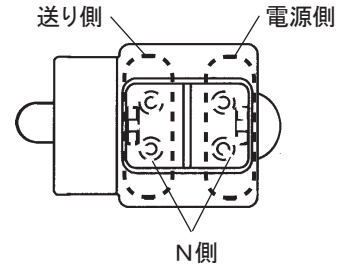
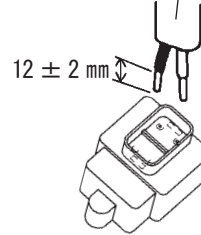
天井の厚さ	埋込穴寸法
5 mm 以上 9 mm 未満	$\phi 100 \pm 1 \text{ mm}$
9 mm 以上 25 mm 以下	$\phi 100 \begin{smallmatrix} +3 \\ -0 \end{smallmatrix} \text{ mm}$

※指定寸法でない場合、すき間があきます。精度よく穴をあけるために、ダウンライトカッターの使用をおすすめします。

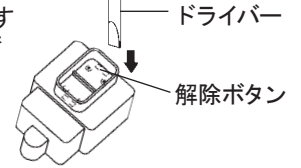
2 端子台に電源線を接続する

- ①端子台に電源線を確実に差し込む。
 - ・ 送り総容量は4A以下です。

適合電線： $\phi 1.6$ 、 $\phi 2.0$ 単線 VVFケーブル



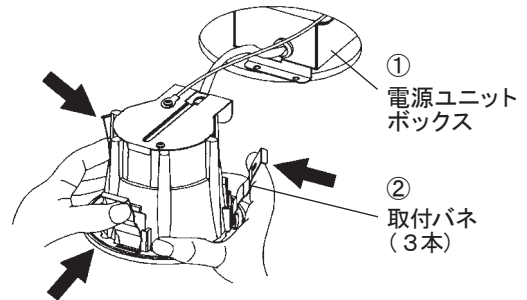
器具の取り替えなどで電源線を外す場合は、マイナスドライバーなどで解除ボタンを押しながら電源線を引き抜く。



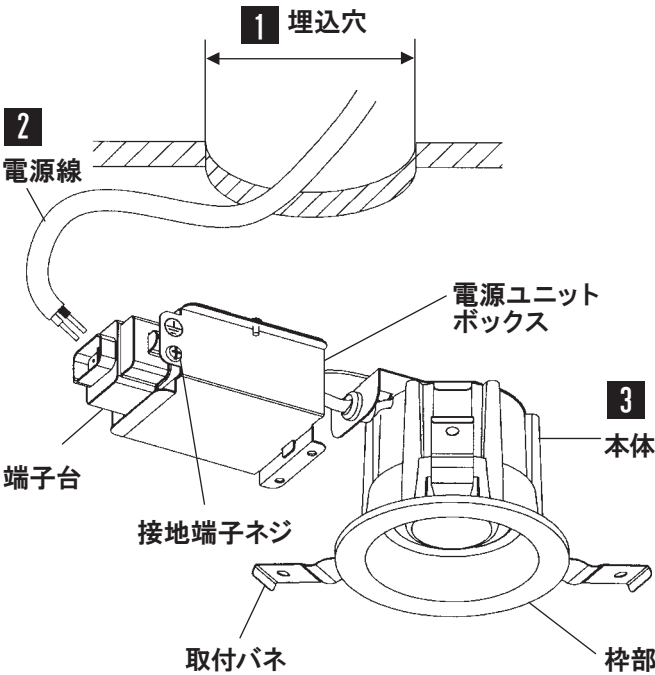
- ②接地端子ネジよりD種（第3種）接地工事を行う。

3 本体を埋込穴に入れる

- ①電源ユニットボックスを埋込穴に入れる。
- ②取付パネ 3 本を押さえながら、本体を埋込穴に押し込む。



- 石こうボードに取り付けた器具を取り外す場合は、枠部をゆっくり引き下げて取付パネを押し曲げながら取り外してください。取り外しに不備があると、天井材破損の原因となることがあります。



警告

❗ 押し込みが不十分な場合、ガタつきおよび器具落下の原因となります
必ず守る

お手入れについて

安全のため、電源を切ってから行ってください

- 明るく安全に使用していただくため、定期的（6カ月に1回程度）に清掃してください。
- 汚れがひどい場合は、石けん水に浸した布をよく絞ってふき取り、乾いたやわらかい布で仕上げてください。

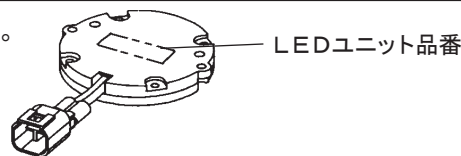
確認

シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色、破損の原因となります。

LEDユニットの交換について

光源に不具合が発生しても、LEDユニットだけを交換できます

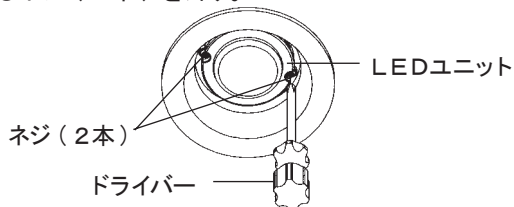
- LEDユニットの品番は、LEDユニットの背面に表示しています。
- 交換用のLEDユニットは、販売店、工事店にご依頼ください。



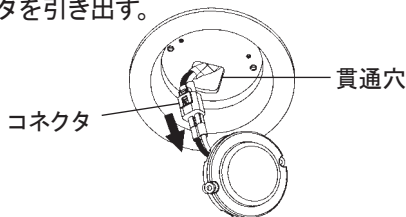
交換方法 注) 交換作業前に、必ず電源を切ってください。

1 LEDユニットを取り外す

- ① プラスドライバーでLEDユニットを固定しているネジ(2本)を外す。

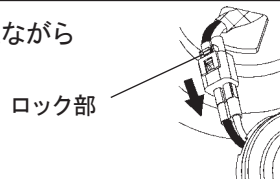


- ② 貫通穴からコネクタを引き出す。



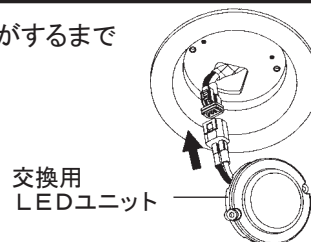
2 コネクタの接続を解除する

- ・ コネクタのロック部を押さえながら接続を解除する。



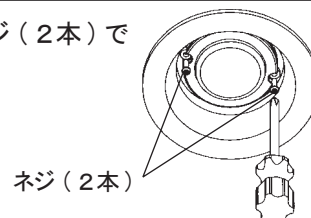
3 交換用LEDユニットを接続する

- ・ コネクタを”カチッ”と音がするまで差し込む。



4 交換用LEDユニットを取り付ける

- ・ 交換用LEDユニットをネジ(2本)でしっかりと固定する。



注意



器具配線やコネクタを過度な力で引っ張らない
充電部露出による感電の原因となることがあります。

ご使用上に関するお知らせ

故障や異常ではありません

- LEDにはバラツキがあるため、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
- LEDが点灯しない場合は、電源を切り、販売店、工事店にご相談ください。
- 一般屋外仕様ですので、海岸隣接地帯では、塩害により短期間で錆が発生するおそれがあります。

● <照明器具> 安全チェックシート ●

※チェック欄が足りない場合はコピーしてお使いください。

安全点検項目	点検結果 (該当には○)					処置手順
	／	／	／	／	／	
<p>このような症状はありませんか</p>	1. スイッチを入れても、時々点灯しないときがある。					○印があるときは危険な状態になっていますので使用を中止し故障や事故の防止のためお取り替えをおすすめします。
	2. プラグ、コードや本体を動かすと点滅する。					
	3. プラグやコードなどが異常に熱い。					
	4. こげくさい臭いがする。					
	5. 点灯させたときに漏電ブレーカが動作することがある。					
	6. コード、ソケット、配線器具に傷みやひび割れ、変形がある。					
<p>このような症状はありませんか</p>	1. 購入後、10年以上経過している。					○印があるときはお買い上げ店にご相談ください。
	2. ランプを交換しても点灯するまで時間がかかる。					
	3. カバーなどに変色・変形がある。					
	4. 塗装面にふくれ、ひび割れがある。または錆が出ている。					
	5. 器具取付部に変形・ガタツキ・ゆるみなどがある。					

上記点検項目以外でも不具合があれば、販売店等の専門家にご相談ください。

取説コード

Z505

201402A_1009